

- 森林所有者や林業従事者の高齢化等により森林の維持管理、伐採及び再造林を行う担い手不足が課題となっている。
- そこで、新規林業就業者を雇用する事業体と、市内林業事業体に就業が見込まれるみやざき林業大学校の研修生に支援を行った。

□ 事業内容

林業担い手育成推進事業

1. 新規林業就業者雇用支援事業

【事業費】 31,055千円（うち譲与税8,012千円、その他23,043千円）

新規林業就業者を雇用する林業事業体に対し、最大24ヶ月間、
10万円/月（上限）を補助する。

2. 延岡市みやざき林業大学校研修生支援事業

【事業費】 196千円（全額譲与税）

市内の林業事業体に居住及び就業が見込まれるみやざき林業大学校研修生に対し、研修中の交通費と賃貸住居費の1/2を補助する。

□ 取組の背景

林業担い手確保の抱える課題として、林業従事者の高齢化、労働環境の過酷さやそれに見合わない賃金、天候等による賃金の不安定さ等が挙げられる。労働環境を整え、林業就業を魅力的なものにすることで、林業就業者の増加を図っている。



□ 工夫・留意した点

新規林業就業者雇用支援事業

新規就業者を雇用する林業事業体の経営基盤を強固にすることで、就業者の賃金アップや福利厚生充実等労働環境の改善を図っている。

□ 取組の効果

【令和5年度 実績件数】

1. 新規林業就業者雇用支援事業

18事業体／36名（新規／25名、継続11名）を支援。

令和4年度（新規／13名）から新規就業者が12名増加した。

令和元年度の事業開始から計74名の新規林業就業者が誕生している。

2. 延岡市みやざき林業大学校研修生支援事業

2名（交通費：1名、賃貸住宅費：1名）を支援。

令和2年の事業開始から、毎年2～3名の研修生が補助事業を活用しており、即戦力となる担い手が安定して確保できている。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：150,100 千円

②私有林人工林面積（※1）：20,395 ha

③林野率（※1）：84.7%

④人口（※2）：118,394人

⑤林業就業者数（※2）：378人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より